

姪浜駅前南側広場(仮称)

アート作品

「Dragon King Rabbits」



平成13年の春に姪浜駅前南側広場(仮称)に吉水浩氏のアート作品「Dragon King Rabbits」が市民の協力を経て完成する。

今回は、これまでに本市が設置してきた彫刻作品とは選考過程を一新した。これまで作品の選考は行政が行っていたため、何故この作品がこの場所に設置されたのかという市民からの疑問の声もあった。

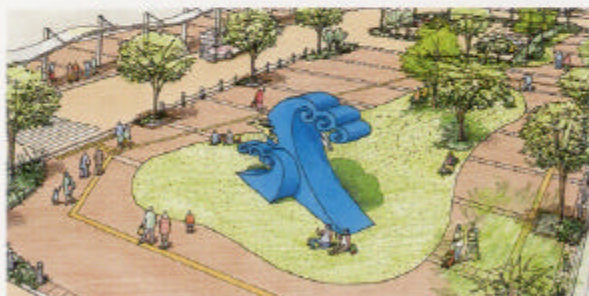
そこで、今回は、作品の選考過程に地域の意見を取り入れるため、選考委員に地元の方にも入ってもらった。また、最終選考に先立ち、姪浜駅と西区役所において候補作品の公開及び市民アンケート調査を行い、市民の意見を参考とした。

作品の選考は地元・アジアを含む作家によるコンペ方式で行われたが、姪浜のシンボルとなりこの場に相応しいものとなるよう、候補作家には実際に姪浜に来てもらい、住民の方々の意見交換を通して姪浜についての理解を深めたうえで作品を制作してもらった。

今回の作品は、市民との協働で設置した作品としては、昨年、福岡市立心身障害福祉センター前に設置した「長浜4899」

について2番目であり、作品選考の段階から市民に参加してもらったのは初めてである。

この作品が地域のシンボルとなり、市民に未永く愛されるものとなることを願っている。



編集後記

●「彩都」を手にとつて、おやっと思われた方も多いかと思いますが、財政事情厳しき折、ページ数を大幅にカットすることになりました。ただ、ページは削つても内容は落とさたくないと、あれこれやりくりした結果が今回の6号です。くつとスリムになった「彩都」いかがでしたでしょうか。皆様のご意見を聞かせてください。

●リほんシティオ郡那珂川で行われたアート・ワークショップ。3小学校の校長先生をはじめ、地域の方々にも大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。アートはまちに彩りを与えてくれたり、人の心を豊かにしてくれるものだと思います。今後、様々な場面でアートを媒介としたまちづくりを提案していきたいと考えています。ワークショップの参加者に対する質問で、「川の中や川の周りには、どんなものがあったらいいと思いますか?」の

問いに、「みんなの笑顔がたくさんあったらいいな。」という小学生の答えが印象的でした。●昭和62年から始まった都市景観賞も今回で101の作品が受賞しました。過去の作品をふり返つてみると、それぞれその時代の世相を反映していることがわかります。景気の良いときには福岡の元気を象徴するような大型の施設だったり、最近では歴史のある建物や人の心をなごませる景観だったり、都市景観賞が時代とともにあるのだということを実感しています。特集の座談会では、過去を振り返りながら今後の都市景観賞を語っていただきました。先生方の都市景観賞に対する期待、福岡市を世界に誇れるまちにしたいという熱い思いが伝わってきました。

彩都 第6号
2001年2月
発行=福岡市都市整備局
都市管理部都市景観室
〒810-8620
福岡市中央区天神一丁目8番1号
☎092-711-4395
編集=福岡市都市整備局
都市管理部都市景観室
株式会社ジーエータップ
表紙デザイン=松浦 佳菜子
アートディレクション=重田 克則
デザイン=中島 恵
撮影=水崎 浩幸 (ルーブフォトクリエイティブ)
イラスト=古賀 俊謙
印刷=株式会社ファイブ
※本誌掲載の写真・記事の無断転載及び複写を禁じます